2026 年度　看護部目標



（R8 年 4 月～R9 年 3 月）

目標　1.　安全・安楽な看護・看護ケアを提供する	達　成　基　準
1. 医療安全対策：基本的ルールを順守する ・患者誤認ゼロを目指す ・安全な薬剤・輸液の実施 ・転倒転落対策の実施（離床センサーの適正使用） 2.　感染防止対策の実施・感染標準予防策の徹底 ・感染経路別予防策の徹底 3.「そばにいる看護」で、思いやりのある看護の提供 ・倫理的思考を身につけ、患者中心の看護を行う ・患者・家族の立場に立って考え行動する ・身体拘束廃止に向けて取り組む ・「そばにいる看護」を実践する	1. ・患者誤認の内服間違い　　全部署で 3 件以内 ・バーコード認証未実施報告　全部署で 5 件以内（前年度 21 件） ・ビーフリード開通忘れ報告　3 件以内（前年度 4 件） ・電源 OFF による転倒・転落　3 件以内（前年度 5 件） ・転倒転落に起因する 3b以上のアクシデント　5 件以内（前年度 7 件） 2. ・新型コロナ・インフルエンザのアウトブレイク、2週間で収束させる ・感染症や感染症の疑いのある患者を各部署で受け入れでき、適切な対策が実行できる 3. ・倫理研修の実施：各部署の取り組みを共有する　：　発表者 SCU・4 東・OP 室 ・クレームの減少：意見箱の苦情　：　6　件以下（前年度 7 件） ・身体拘束実施率を集計が院内で 15％以内又は、委員会年 4 回、院内研修年 2 回、ラウンドが実施できる ・「患者のそばにいる時間が増えたと実感できた」 という職員が増える
目標　2. 職員全員で働きやすい職場を作る	**達　成　基　準**
1.経営参画：施設基準への取り組み ・施設基準　10 対1看護体制の実践 ＋ 看護・他職種協働加算の実践 ・在院日数 16 日以下 ・稼働率 90％維持 ・重症度、医療・看護必要度の確保（コスト漏れ対策の強化・暫定評価の継続） 2.職員の働きがいの向上を目指す ・目標・中間面接を通し、個人の目標を明確にして計画的にチャレンジする ・自主的に研鑽を積んで知識を広げる ・新人教育・現任教育による教育の拡充 ・各委員会の活動を活発化させる 3.　心理的安全性を感じる、ハラスメントのない職場づくり ・ハラスメントにない組織風土を作る	1. ・勤務時間・除外時間を管理し、協力体制を図り、基準内の人員配置ができる ・在院日数 16 日以下を維持できる ・4病棟稼働率 90％、SCU 稼働率 95％以上 ・必要度　3 カ月平均 ①27％　②34％以上 2. ・チャレンジ目標達成率（75％達成者）　80％以上 ・自己研鑽の研修参加率 各部署 90％以上（補助者、クラーク含む） ・院内研修が計画的に実施され、研修目標 80％以上達成となる。 ・各委員会メンバーが活動し、部署内で活動・周知する行動がとれる 3. ・ハラスメントの研修を開催し、看護職員全員が受講できる